

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月8日

上場会社名 乾 汽船 株式会社

上場取引所 東 大

コード番号 9113 URL <http://www.inuishop.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乾 新悟

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 阿部 健二

TEL 03-3548-3273

四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	6,571	—	3,061	—	3,616	—	2,195	—
20年3月期第1四半期	5,219	38.6	2,008	316.3	2,021	360.3	1,195	247.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	74.64	—
20年3月期第1四半期	43.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	30,602	21,691	21,691	70.9	737.54	
20年3月期	31,118	20,425	20,425	65.6	694.49	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 21,691百万円 20年3月期 20,425百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	40.00	40.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	13,700	—	5,800	—	6,400	—	3,900	—	132.61
通期	26,700	14.2	10,400	5.8	11,100	24.5	6,700	△6.9	227.81

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3～4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 29,429,335株 20年3月期 29,429,335株

②期末自己株式数 21年3月期第1四半期 19,070株 20年3月期 19,070株

③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 29,429,335株 20年3月期第1四半期 27,581,363株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に記載されている業績見通し等の詳細に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2～3ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）の世界経済は、景気の減速観測が強まり、資源価格の上昇などによる企業業績の悪化や金融機関の損失拡大に伴う信用収縮懸念の広がりなどから株価も下落傾向にあり、先行きの不透明感が広がっております。米国においては、住宅市場の冷え込みや原油価格の高騰に加え、サブプライム問題による金融市場の波乱等によりリセッションの様相を強め、欧州も景気減速下でインフレ圧力が高まってきております。日本経済もまた企業収益の急速な悪化を背景とした設備投資の減少や個人消費の低迷から景気後退の局面に入りつつあります。

事業を取り巻く環境としては、運賃及び用船市況は4月の一時的な調整局面の後、再び騰勢を強め、高水準で推移いたしました。当期の為替相場に関しては、前年度末の急激な円高レベルに対し、上述のとおり米国景気の先行き懸念より米ドル買いは進まず、むしろ後半は円安方向に推移した為、当第1四半期の平均為替レートは101.99円/米ドルとなりました。一方、燃料油価格につきましては、原油市場への投機的な資金流入が続き、騰勢を強めており、この動きに連動して、船舶燃料油価格も更に高騰し高値圏に張り付いております。当期の平均燃料油価格はUS\$553/MTで前年同期に比べUS\$219/MT上昇し、航海採算を圧迫いたしました。

その結果、当第1四半期の連結売上高は6,571百万円（前年同期比1,351百万円増加）、営業利益は3,061百万円（前年同期比1,053百万円増加）、経常利益は3,616百万円（前年同期比1,594百万円増加）、四半期純利益は2,195百万円（前年同期比1,000百万円増加）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産に関する分析

当第1四半期における総資産は、前期末に比べ516百万円減少し、30,602百万円となりました。これは主に、海運業未収金238百万円、投資有価証券566百万円等の増加、現金及び預金909百万円、船舶412百万円等の減少によるものです。

負債は、前期末に比べ1,782百万円減少し、8,911百万円となりました。これは主に、海運業未払金128百万円及び未払法人税等1,373百万円等の減少によるものです。

純資産は、利益剰余金1,018百万円、その他有価証券評価差額金285百万円等の増加、繰延ヘッジ損益が462百万円減少したことにより、前期末に比べ1,266百万円増加の21,691百万円となりました。以上の結果、連結ベースの自己資本比率は、70.9%となりました。

(2) キャッシュ・フローに関する分析

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7,857百万円となり、前期末に比べ909百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は59百万円で、これは主に税金等調整前四半期純利益3,574百万円、減価償却費が421百万円等の増加、為替換算差額429百万円並びに法人税等の支払い3,004百万円等の減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は81百万円で、これは主に投資有価証券の取得による支出75百万円、有形固定資産の取得による支出4百万円等の減少によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は1,344百万円で、これは主に長期借入金の返済による支出169百万円、配当金の支払い1,175百万円等の減少によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期以降の業績につきましては、世界経済の景気減速や船舶燃料油価格の一層の上昇等の懸念材料はあるものの、中国を始めとした新興国や資源国の荷動きは旺盛であり、船腹の需給関係より見て、引き続き高水準で推移し、

好調を持続すると思われます。

このような状況下、2期連続で更新してまいりました創業以来の最高収益及び利益を上回るペースで順調に推移している現状を踏まえ、第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高13,700百万円、営業利益5,800百万円、経常利益6,400百万円、純利益3,900百万円と予想しております。また、通期の連結業績につきましては、売上高26,700百万円、営業利益10,400百万円、経常利益11,100百万円、当期純利益6,700百万円と予想しております。

(平成21年3月期連結業績予想)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第1四半期累計期間実績	6,571	(-)	3,061	(-)	3,616	(-)	2,195	(-)
第2四半期累計期間予想	13,700	(12,000)	5,800	(4,800)	6,400	(4,900)	3,900	(2,900)
通期予想	26,700	(24,500)	10,400	(8,900)	11,100	(9,000)	6,700	(5,400)

注：()内は期初に開示した業績予想数値になります。

(平成21年3月期個別業績予想-参考)

(単位：百万円)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
第1四半期累計期間実績	6,655	(-)	2,885	(-)	3,457	(-)	2,115	(-)
第2四半期累計期間予想	13,900	(12,000)	5,600	(4,800)	6,200	(4,900)	3,800	(3,000)
通期予想	27,000	(25,000)	10,500	(9,000)	11,200	(9,200)	6,900	(5,500)

注：()内は期初に開示した業績予想数値になります。

なお、第2四半期以降の為替、燃料油価格の予想前提は以下のとおりです。

	第2四半期 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		下期 (自平成20年10月1日 至平成21年3月31日)	
為替レート (円/1米ドル)	¥105.00	(¥100.00)	¥100.00	(¥100.00)
燃料油価格 (US\$/MT)	US\$750.00	(US\$520.00)	US\$750.00	(US\$520.00)

注：()内は期初に開示した予想数値となります。

配当金については、昨年度より基本方針として、安定配当と業績連動配当を合わせて、配当性向を当面の間、通期の個別業績の当期純利益の20%を目安とすることに決定し対外発表しております。期初に予想した配当金は38円ですが、今後の通期業績の推移を見つつ、基本方針に従い期末の配当を検討させていただきます。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

a. 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

b. 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している一部固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

a. 四半期財務諸表に関する会計基準

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

b. 棚卸資産の評価に関する会計基準

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、主として移動平均法による原価法から、主として移動平均法による原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。なお、この変更による損益への影響はありません。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結損益計算書
 (第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

当第 1 四半期連結累計期間
 (自 平成20年 4 月 1 日
 至 平成20年 6 月30日)

海運業収益	
運賃	5,216,638
貸船料	1,344,122
その他海運業収益	4,128
海運業収益合計	6,564,889
海運業費用	
運航費	1,679,736
船費	869,793
借船料	657,381
その他海運業費用	62,273
海運業費用合計	3,269,185
海運業利益	3,295,703
その他事業収益	6,312
その他事業費用	2,535
その他事業利益	3,776
一般管理費	238,147
営業利益	3,061,332
営業外収益	
受取利息	29,386
受取配当金	27,793
為替差益	435,078
その他	79,793
営業外収益合計	572,052
営業外費用	
支払利息	14,463
その他	2,804
営業外費用合計	17,268
経常利益	3,616,116
特別損失	
前期損益修正損	41,282
特別損失合計	41,282
税金等調整前四半期純利益	3,574,834
法人税、住民税及び事業税	1,649,888
法人税等調整額	270,249
法人税等合計	1,379,639
四半期純利益	2,195,194

(2) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第 1 四半期連結会計期間末 (平成20年 6 月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,857,850	8,767,453
海運業未収金	742,570	504,500
有価証券	226,464	184,616
貯蔵品	606,946	532,480
繰延及び前払費用	238,388	264,413
その他	547,091	632,642
貸倒引当金	514	322
流動資産合計	10,218,796	10,885,784
固定資産		
有形固定資産		
船舶 (純額)	12,121,736	12,533,799
その他 (純額)	504,650	508,566
有形固定資産合計	12,626,387	13,042,365
無形固定資産	9,507	10,288
投資その他の資産		
投資有価証券	7,342,256	6,775,888
その他	433,408	432,049
貸倒引当金	27,529	27,530
投資その他の資産合計	7,748,134	7,180,407
固定資産合計	20,384,029	20,233,061
資産合計	30,602,825	31,118,846
負債の部		
流動負債		
海運業未払金	1,116,098	1,244,248
短期借入金	883,040	879,302
未払法人税等	1,621,973	2,995,266
賞与引当金	7,103	22,274
役員賞与引当金	-	83,000
その他	644,941	890,503
流動負債合計	4,273,157	6,114,594
固定負債		
長期借入金	2,740,958	2,887,421
繰延税金負債	1,615,014	1,424,630
退職給付引当金	76,047	73,450
特別修繕引当金	127,000	109,250
その他	79,354	84,284
固定負債合計	4,638,374	4,579,036
負債合計	8,911,531	10,693,630

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,351,682	3,351,682
資本剰余金	2,098,314	2,098,314
利益剰余金	14,437,321	13,418,537
自己株式	6,111	6,111
株主資本合計	19,881,207	18,862,423
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	932,570	646,857
繰延ヘッジ損益	18,328	56,748
為替換算調整勘定	859,186	859,186
評価・換算差額等合計	1,810,085	1,562,792
純資産合計	21,691,293	20,425,215
負債純資産合計	30,602,825	31,118,846

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,574,834
減価償却費	421,685
貸倒引当金の増減額(は減少)	191
賞与引当金の増減額(は減少)	15,170
特別修繕引当金の増減額(は減少)	17,750
受取利息及び受取配当金	57,180
支払利息	14,463
為替差損益(は益)	429,987
未収消費税等の増減額(は増加)	24,828
たな卸資産の増減額(は増加)	74,465
売上債権の増減額(は増加)	237,905
仕入債務の増減額(は減少)	128,149
その他	79,054
小計	3,031,839
利息及び配当金の受取額	46,785
利息の支払額	14,700
法人税等の支払額	3,004,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,619
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	4,925
投資有価証券の取得による支出	75,200
貸付金の回収による収入	775
その他	2,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,484
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	169,705
配当金の支払額	1,175,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,344,706
現金及び現金同等物に係る換算差額	456,967
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	909,603
現金及び現金同等物の期首残高	8,767,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,857,850

「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
当社及び連結子会社の営んでいる事業のうち、海運業の売上高及び営業利益の金額は、全体の売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	日本 (千円)	パナマ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,571,201	—	6,571,201	—	6,571,201
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	84,480	1,085,035	1,169,515	(△1,169,515)	—
計	6,655,681	1,085,035	7,740,717	(△1,169,515)	6,571,201
営業利益	2,885,724	175,608	3,061,332	—	3,061,332

(注) 営業費用のうち「消去又は全社」の項目に含めた配賦不能営業費用はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	オセアニア	その他	計
I 海外売上高 (千円)	532,827	744,859	215,012	1,183,252	1,244	2,677,196
II 連結売上高 (千円)	—	—	—	—	—	6,571,201
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.1	11.3	3.3	18.0	0.0	40.7

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

- (1) 北米……………アメリカ
- (2) ヨーロッパ……………ドイツ、ノルウェー
- (3) アジア……………韓国、シンガポール
- (4) オセアニア……………オーストラリア
- (5) その他……………アフリカ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 海運業収益	5,215,288
II 海運業費用	3,010,679
海運業利益	2,204,608
III その他事業収益	4,612
IV その他事業費用	3,037
その他事業利益	1,574
営業総利益	2,206,182
V 一般管理費	198,100
営業利益	2,008,082
VI 営業外収益	
受取利息及び配当金	30,949
その他	25,388
営業外収益合計	56,337
VII 営業外費用	
支払利息	36,540
その他	5,960
営業外費用合計	42,500
経常利益	2,021,919
VIII 特別損失	
過年度損益修正損	29,344
特別損失合計	29,344
税金等調整前四半期純利益	1,992,574
法人税、住民税及び事業税	901,342
法人税等調整額	△103,869
四半期純利益	1,195,101